ふるさと歴史散歩 226
～松前史談会レポート～

JR 北伊予駅界隈ええとこめぐりⅠ

JR 松山駅付近の鉄道高架化工事が今年秋に完成予定である。高架化事業ですでに北伊予駅に待避用の 3 番線が追加され、線路をまたぐ自由通路（べんてんばし）が設置されている。

今回は JR 北伊予駅からスタートし、まずは駅西側の神崎墓地にある禅正軒庵（ぜんしょうけんあん）へ。ここは禅宗の寺院（本尊薬師如来）で寛文元 (1661) 年ころの造立とされるが、檀家（だんか）はない。この寺院には興味深い伝説がある。

慶長 5 (1600) 年の関ヶ原の戦いで松前城主加藤嘉明が東軍として戦っていた時、西軍についた長州（現：山口県）の毛利輝元の部下が、加藤嘉明の留守を狙って松前城を攻めるため三津に上陸した。留守部隊の加藤嘉明の重臣佃十成（つくだかずなり）らが迎え撃ち、加藤軍が次々と勝利を収める中、西軍の敗北を聞いた毛利軍は引き揚げることとなった。「伊予の関ヶ原・刈屋口の戦い」といわれている。

この戦いで毛利方についた河野家の家臣で地頭の平若左近は、出作の音地やぶで討ち死にしたという。その亡きがらを持ち帰り、その後現在地に埋葬された。左近の乗っていた馬の首まで切り落とされたことから、この戦いの後、夜な夜な首なし馬が鈴の音を鳴らして走るのを聞いた地域の住民が、その馬の霊を鎮めるため、毎年 8 月 12 日夕方に神崎・出作・鶴吉の人々が集まって大念仏供養が行われたと伝えられ、この行事は現在も続いている。また、境内には「大念佛発祥之地」の石碑がある。次号に続く。（宮内祐記）

1 禅正軒庵　昔は山門があったが、今は小さな庵（いおり）のみに建て替えられ（正面奥）、住職は晴光院が兼務している。もとは松山法龍寺の末寺で「禅宗瑠璃光山禅正軒」の山号碑が寺社総代によって建立されている
2 「大念佛発祥之地」の石碑　長老の先導者が大団扇（うちわ）をかざして大念仏を唱え、続いて参加者全員が団扇をかざして大念仏を唱和する

3 月の歴史散歩は実施しません。　問 松前史談会（麻生）☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館だより

【開館時間】 9 時～22 時 【休館日】 12 月 28 日～1 月 4 日

◆東公民館	神崎 210	☎ 984-1159	FAX 984-1457
◆西公民館	北黒田 966-2	☎ 984-5313	FAX 984-5313
◆北公民館	昌農内 456-1	☎ 984-7529	FAX 984-9398

西公民館　毎月順番に活動内容をお届け！
高齢者大学人権学習講座

㊧会場内にきれいな声が響き渡る
㊨参加者に優しく語りかける本馬先生

1 月 17 日、高齢者大学で人権学習講座を行い、60 人が参加しました。

講師は、中学校の音楽指導で実績のある松前町人権対策協議会教育啓発部長の本馬祐子（ほんまゆうこ）先生。「童謡や子守歌に込められた想い」と題して行われた講演では、「七つの子」「竹田の子守唄」のピアノ演奏と歌で、この歌の中にある、人々が苦しみを乗り越え生きるたくましい姿を表現していました。

参加者は、子どもの頃に戻った気持ちで、先生と一緒に歌ったり、笑ったり、涙を浮かべたり―。心も揺さぶられ、大いに盛り上がり、改めて人権の大切さにも気付くことができた有意義な時間になりました。

Let's Enjoy Books ふるさと ライブラリー

◆開館時間　9 時 30 分～19 時
◆問い合わせ　☎ 985-4140
FAX 985-1386
https://www.i-masaki.jp/library/
◆3 月の休館　11 日㊊～20 日㊌・㊗、29 日㊎

おはなし会
9 日 ㊏
11 時～
文化センター 3 階和室
※ いつもと場所が違います

3 月 11 日㊊～20 日㊌・㊗
特別整理による休館

年に一度の特別整理のため、上記期間中図書館を休館します。

この期間中に、図書館にある全ての資料が正しい場所にあるか、なくなっている資料がないかなどを点検し、整理します。皆さんが快適に利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶ぎんなみ商店街の事件簿
井上真偽・著
小学館

古き良き商店街で起きた三つの事件。解明に挑むのは、商店街に暮らす 4 兄弟と 3 姉妹。二つの側面から展開する事件は、全く違う真実へと。Brother 編・Sister 編どちらからでも楽しめる

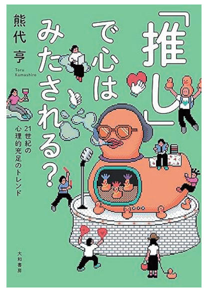
▶君が手にするはずだった黄金について
小川哲・著
新潮社

著者自身をほうふつとさせる「僕」が怪しげな人物たちと遭遇する六つの連作短編集。彼らはどこまでうそをついているのか、うそを物語にしている「僕」は彼らと何が違うのか。本屋大賞ノミネート作品

▶成瀬は信じた道をいく
宮島未奈・著
新潮社

あの成瀬あかりが帰ってきた。幼なじみの島崎が故郷に帰ると、成瀬が書き置きを残して失踪しており…？大学生になり、ますますパワーアップした成瀬は、今日もわが道を突き進む

◀「推し」で心はみたされる？
熊代亨・著
大和書房



2010 年代から急速に使われるようになった「推し」についての書籍。なぜ人は「推し」にはまるのか。「推し」が個人で完結せず、社会的影響を伴う点に着目し、承認欲求やナルシズムについて考察する

◀犬がそばにいてくれたから
三浦健太・著
主婦の友社

老いゆく犬と暮らした日々を描く、実話を元にしたストーリー。愛犬を亡くしたことのある人も、今老犬と暮らしている人も、いつか来るその日のために、愛犬とかけがえのない幸せな日々を過ごすための本

◀ぜんぶわかる! ひとり暮らしの教科書
河野真希・監修
宝島社

新社会人も新学生もおひとりさまも必読。物件探しから入居の手続き、家事のこつや退去手続きまで、1 人暮らしの「分からない」がすべて分かる、新生活にぴったりの1冊